

# 横田英史の 書籍紹介コーナー



## イノベーターズ I, II

ウォルター・アイザックソン、井口耕二・訳  
講談社 いずれも2,640円(税込)

スティーブ・ジョブズの評伝で知られる伝記作家によるイノベーター列伝。上下2巻で900ページ弱の大著だが、エピソードをふんだんに盛り込んだストーリーテラーぶりはさすがで長さを感じさせない。

最初に登場するのは、プログラミング言語Ada(エイダ)に名を残す伯爵夫人エイダ・ラブレス。コンピュータの母と呼ばれる人物だが、父親は詩人・バイロンであり、母親は數学者。筆者の考える「真の創造性は芸術と科学を結び付けられる人から生まれてきた」「イノベーターは美を大切にする人」を体現する人物である。

読み応えがあるのは最終章だ。AI時代における「人とコンピュータの共生」「人間の価値は何か」に言及する。機械との共生で人間が持ち込むのは創造性であり、人間の存在価値は「違った考え方(Think Different)」ができる点だと語る。

## ブロックチェーン技術の未解決問題

松尾真一郎 他  
日経BP社 2,640円(税込)

ガートナーライブに言えば「幻滅期」に入ったブロックチェーンが今後解決すべき問題を論じた書。“なんちやって”ブロックチェーンや、“無理やり”ブロックチェー

ンといった事例が跋扈するなか、今後進めるべき研究の方向性を明らかにしたお薦めの1冊である。

本書は、ブロックチェーンの基礎、革新性の中身、性能がスケールしない問題、ビットコインの落とし穴、開発体制の問題などについて紹介する。過剰な期待を捨て、現実を見すえた使い方を模索することが重要だと説く。

筆頭著者である松尾真一郎は、「ブロックチェーンの本質的な価値を理解しないまま、ビジネスや金銭的な利益を優先して動いている」「バブル化の恐れがある」と危機感を募らせる。現在のブロックチェーンの技術レベルはフルマラソンでいえば1km地点を通過したところと語る。

## 移民とAIは日本を変えるか

翁邦雄  
慶應義塾大学出版会 2,200円(税込)

移民(外国人労働者)とAIが日本社会と経済に与える影響について解説した書。欧州の経験、日本の現状、外国人労働者急増の主役となっているベトナムの事例、AIと移民の共通点と相違点、今後の課題について論じる。労働人口減少をAIで補えるのか、AIは人間から職場を奪うのかについても明快に答える。ドイツの移民政策の失敗を踏まえ、日本における外国人労働者受け入れ策の安易さに警鐘を鳴らしている。データに基づいた議論には安定感がある。

テーマの選定が時宜を得ており、一読をお薦めする。

日本の現状について、犯罪、国際結婚、失踪問題、宗教、日本人観といった切り口でデータに基づき分析する。AIは労働環境の2極化を招くものの大失業が発生することはない、労働人口減少の方がAIによる労働力代替よりも53%も経済に与えるは大きいと語る。

## IT業界の病理学

司馬紅太郎、秋山浩一、森龍二 ほか  
技術評論社 1,848円(税込)

主にエンタープライズ系システム開発を手がけるIT業界の宿痾を紹介した書。IT業界における失敗プロジェクトの“あるある”を分析し、病状と影響、原因と背景、治療法、予防法をまとめている。組込み業界とIT業界はともにソフトやシステムの設計開発を手がけるが、言葉が通じなかつたり、互いの実態を知らないケースが少なくない。本書には組込み業界が知つておいて損はない「IT業界の実態」の情報が詰まっている。

筆者は開発、レビュー/テスト、保守・運用、マネジメント、業界と5つの章に分けて解説する。開発の章では「なんちやってアジャイル症候群」、レビュー/テストでは「メールレビュー」という名のアリバイ作り、保守・運用では「『運用でカバー』症候群」、マネジメントでは「永遠の進捗90%」といった具合だ。話は具体的で分かりやすい。

横田英史 (yokota@et-lab.biz)

1956年大阪生まれ。1980年京都大学工学部電気工学科卒。1982年京都大学工学研究科修了。川崎重工業技術開発本部でのエンジニア経験を経て、1986年日経マグロウヒル(現日経BP社)に入社。日経エレクトロニクス記者、同副編集長、BizIT(現xTECH)編集長を経て、2001年11月日経コンピュータ編集長に就任。2003年3月発行人を兼務。2004年11月、日経パーソナルコンピュータ編集長に就任。その後、日経BP社執行役員を経て、2013年1月、日経BPコンサルティング取締役、2016年日経BPソリューションズ代表取締役に就任。2018年3月退任。2018年4月から日経BP社に戻り、日経BP総合研究所 グリーンテックラボ 主席研究員、2018年10月退社。2018年11月ETラボ代表、2019年6月当協会理事、現在に至る。

記者時代の専門分野は、コンピュータ・アーキテクチャ、コンピュータ・ハードウェア、OS、ハードディスク装置、組込み制御、知的財産権、環境問題など。

\*本書評の内容は横田個人の意見であり、所属する団体の見解とは関係がありません。

